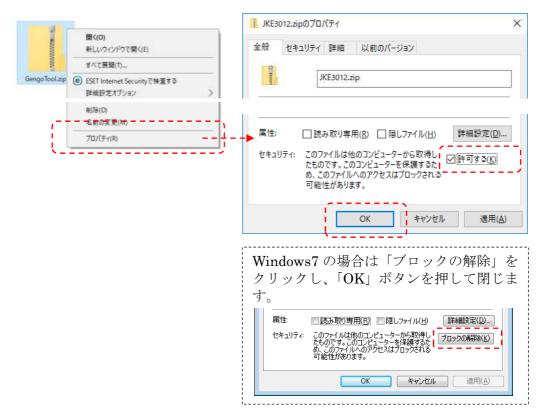
元号表管理ツールの操作手順

- ※本書内 GengoTool.zip はダウンロードバージョンに応じて GengoTool3000.zip 等に読み替えて下さい。
- 1. ダウンロードしたファイルを展開し、ツール (JKE3012.exe) を使用可能にします。
- 1-1. ブロックの解除

ダウンロードした GengoTool.zip を右クリックしてプロパティを表示し [全般]タブ右下「許可する」にチェックを付け「OK」をクリックして閉じます。



参考:「許可する」や「ブロックの解除」が表示されない場合はこのまま続けて下さい。

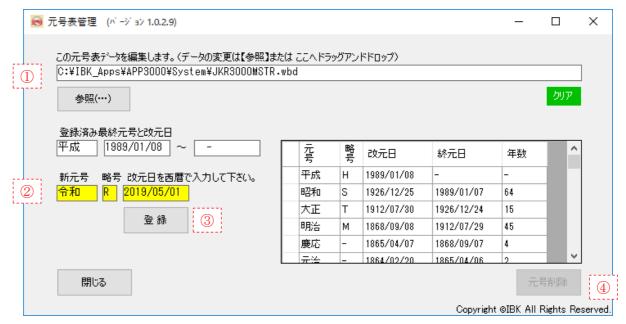
1-2. ブロック解除済の GengoTool.zip をダブルクリックして解凍



2. 元号表管理ツールの操作

手順1で使用可能にした JKE3012(.exe) \implies をダブルクリックして起動します。

2-1. 操作機能概要



- ① 元号表データを持つファイルを指定 ⇒ 参照(…)ボタン押下
 - ・寺院管理3000(標準)の場合は自動表示されます。
 - ・起動時にここが空欄の場合は下表を参考にしてファイルを指定して下さい。
- ② 新元号, 略号と改元日を入力 (新元号情報は自動設定されます)
- ③ 新しい元号を登録します。
- ④ 登録した元号の削除ができます。(平成以前は削除できません)

別表:①のファイルと寺院管理バージョンの関係

寺院管理バージョン	ファイル名	ファイルの場所 (標準)
寺院管理 3000	JKR3000MSTR. wbd	C:¥IBK_Apps¥JKR3000¥System
寺院管理 2007	JKR2007MSTR. wbd	C:\frac{4}MKRJ_Apps\frac{4}{MKRJ2007\frac{4}{System}\frac{8}{1}}
寺院管理 2003	○○寺管理データ.mdb ^{※2}	[マイドキュメント]¥寺院管理データ ^{※2}
(旧)寺院管理	○○寺管理データ.mdb ^{※2}	C:¥寺院管理¥寺院管理¥Data ^{※2}
霊園管理	JKR3000MSTR. wbd	C:¥IBK_Apps¥Reien¥System ^{*3}

※1: C:\footnote{MKRJ_Apps\footnote{MKRJ3000\footnote{System}} の場合もあります。

◆ランチャメニューの「システム環境設定」→「システム設定内容」で表示される「システムフォルダ」で確認できます。

※2: 運用中のデータファイルおよびその場所

ファイル名は「〇〇寺檀信徒管理. mdb」「〇〇寺門信徒管理. mdb」です。

- ◆総合メニューの「使用中のデータ」で確認できます。
- ◆複数のデータを運用している場合は、それぞれに新元号を登録して下さい。
- ※3:C:\footnote{MKRJ_Apps\footnote{MKRJ3000\footnote{System}} の場合もあります。
 - ◆ランチャメニューの「システム環境設定」→「システム設定内容」で表示される「システムフォルダ」で確認できます。

おわかりにくいところは jkr3000@ibkk. jp または 090-4691-8927 までお問合せ下さい。